



リニューアルした学生ラウンジ(P.8で紹介)

## CONTENTS

● Feature Story — 大正モダンの香り漂う和洋折衷の名建築

### 樟蔭学園の 歴史的財産・登録有形文化財 「樟徳館」

1

● こもれびの窓 — 「患者さんの気持ちに寄り添える管理栄養士をめざして」松原 亜海さん

3

● SHOIN Report — 就職活動特集「就職活動を頑張る後輩たちへ」

5

● NEWS — 「学生広報チーム『ステラプロジェクト』が活躍中!」ほか

7

● みんなの声 — テーマ:「新生入生に伝えたい樟蔭のいいところ」

12

● Information — イベントのお知らせ

13

● WingBEAT! — 「異文化に触れて、『学ぶことの楽しさ』を発見!」●●●●●さん

15

● CLUB NAVI — 大学 マンドリン部

16

● 育むところ — 「一度きりの人生、その瞬間の気持ちに正直に」近藤 眞太郎先生

17

● FORUM — 皆様とのコミュニケーションスペース

18

● リレー★コラム 川上 正浩 先生 & STAFF@SHOIN 西野 律先生

19



はばたけ、知性。





大正モダンの香り漂う和洋折衷の名建築  
樟蔭学園の歴史的財産・登録有形文化財「樟徳館」

小阪キャンパスにほど近い場所にある樟徳館はもとも、学園の創立者である森平蔵の住居として昭和初期に建てられました。没後は学園に寄贈され、今も当時の姿のまま大切に保存・活用されています。

2000年には国の登録有形文化財となりました。大正モダンの雰囲気にも包まれた和洋折衷の建築美に惹かれ、これまで多くの人々が見学に訪れています。

他にも学園では“記念館”と“樟古館”が登録有形文化財となっていますが、樟徳館はその2館と同様に学園が誇る貴重な財産です。建築当時から現在に至るまでの歴史をひも解きます。

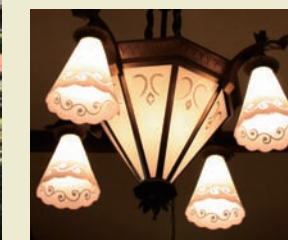
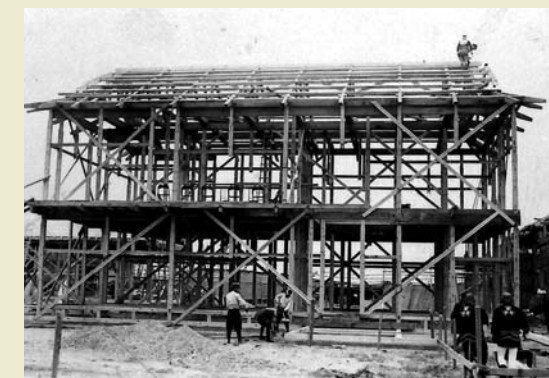
## 樟徳館の歴史

森平蔵(1875-1960)は大阪市内で材木商を営みながら森平汽船株式会社を興した実業家で、1917(大正6)年に現在の樟蔭学園の前身である樟蔭高等女学校を創立しました。

現在の樟徳館がある場所には「東洋のハリウッド」と呼ばれた帝国キネマの長瀬撮影所があり、周辺には映画関係者が住んでいたり、監督や俳優のための旅館などもあったといわれています。ところが1930(昭和5)年に焼失し、撮影所は京都太秦に移転しました。

その跡地を入手した森平蔵は、私邸の建築のために日本各地の銘木をすべて原木で集め、隣地に設けた製材所で製材を行いました。自ら墨かけ・木取りするほどの熱の入れようで、さらには関東からも棟梁を呼び寄せ、別々の部屋の施工を任せることで地元の大工と技術を競わせたという逸話も残っています。

材木商ならではの木に対するこだわりと、鋭い美的感覚が全面に表れたこの邸宅は、1939(昭和14)年に完成しました。森平蔵は1960(昭和35)年に亡くなりましたが、建物は故人の遺志によって樟蔭学園に寄贈され、樟徳館と命名されました。現在では大阪樟蔭女子大学の学びの場として使用されています。



## 登録有形文化財に指定

2000(平成12)年10月、樟徳館の主屋・土蔵・鎮守社・門・東塀・南塀の6点が国の登録有形文化財になりました。「造形の規範となり、再現が容易でないもの」と評されているように、現在ではとても手に入らないような最高級の木材が惜しみなく用いられ、技術的にも当時の職人にしか作れない細工が施されています。

主屋の外観は壮麗な和風の木造2階建てでありながら、内部の洋風の居間に床の間がしつらえてあるなど、和洋折衷のデザインが多く見られる点がこの館の特徴です。どの部屋も趣向が凝らされ、中でも応接室は天井にクスノキの巨大な一枚板を張り、床はナラの寄木細工で、お寺の花頭窓(かとうまど)を模したような窓ガラスには繊細な花柄の装飾を施すなど、見事な造りとなっています。他にも、アール・デコ調の照明が輝く食堂や、一本の杉から数枚しかとれない中奎(なかま)板でできた仏間の天井など、細部に至るまで見どころ満載です。

## NHKドラマ「カーネーション」に登場

最近では2011年秋から半年間放送されたNHK連続テレビ小説「カーネーション」の撮影場所選ばれ、樟徳館らしい優雅な雰囲気が映し出されていました。

“朝ドラ”過去8年間で最高の平均視聴率を記録した「カーネーション」は、世界的なファッショ

ンデザイナーのコシノ3姉妹の母であった、小篠綾子さんをモデルにしたドラマです。樟徳館は“ヒロインの祖母宅”などの設定で使用され、ヒロイン役の尾野真千子さん、十朱幸代さん、栗山千明さんらが参加して3日間にわたる撮影が行われました。



## 95周年記念 樟徳館一般公開を行います

今秋、学園の創立95周年を記念して、樟徳館の一般公開を行います。この機会にぜひご来場ください。

日 時：11月10日(土)・11日(日) 10時～16時 入場無料・予約不要

アクセス：小阪キャンパス正門から南へ徒歩約15分、または近鉄大阪線長瀬駅から北へ徒歩約5分

お問い合わせ：学校法人樟蔭学園 学園広報室 TEL:06-6723-8152





## 京都の大学病院で、栄養面から患者さんの健康をサポート 「患者さんの気持ちに寄り添える 管理栄養士をめざして」

### 松原 亜海さん

管理栄養士

京都府出身 2000年度大阪樟蔭女子大学学芸学部食物栄養学科(現 健康栄養学科)卒業

まつばら・あみ ● 大学卒業後、京都市内の病院や保健所を経て、2006年に京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部栄養管理室に入職。2012年3月、働きながら通っていた同志社女子大学大学院生活科学研究科を修了。「どんな仕事でも、その先には必ず患者さんがいる」ことをモットーに、母校、樟蔭で開かれている栄養療法向上に貢献する勉強会などにも定期的に参加。最新の食事療法を学ぶことを大切にしている。

管理栄養士として京大病院で働く松原亜海さん。病気で食事を自由に楽しめなくなった患者さんへの栄養指導や、食事療法についての研究などを行っています。「私自身が食べることが大好きなので」と、できるだけ患者さんがストレスを感じないような栄養指導を心がけ、多くの患者さんから信頼を得ています。京大病院での現在の仕事のことや、「樟蔭でよかったなあ」と振り返る学生時代についてお伺いしました。

#### 最初は、アスリートをサポートする栄養士をめざして

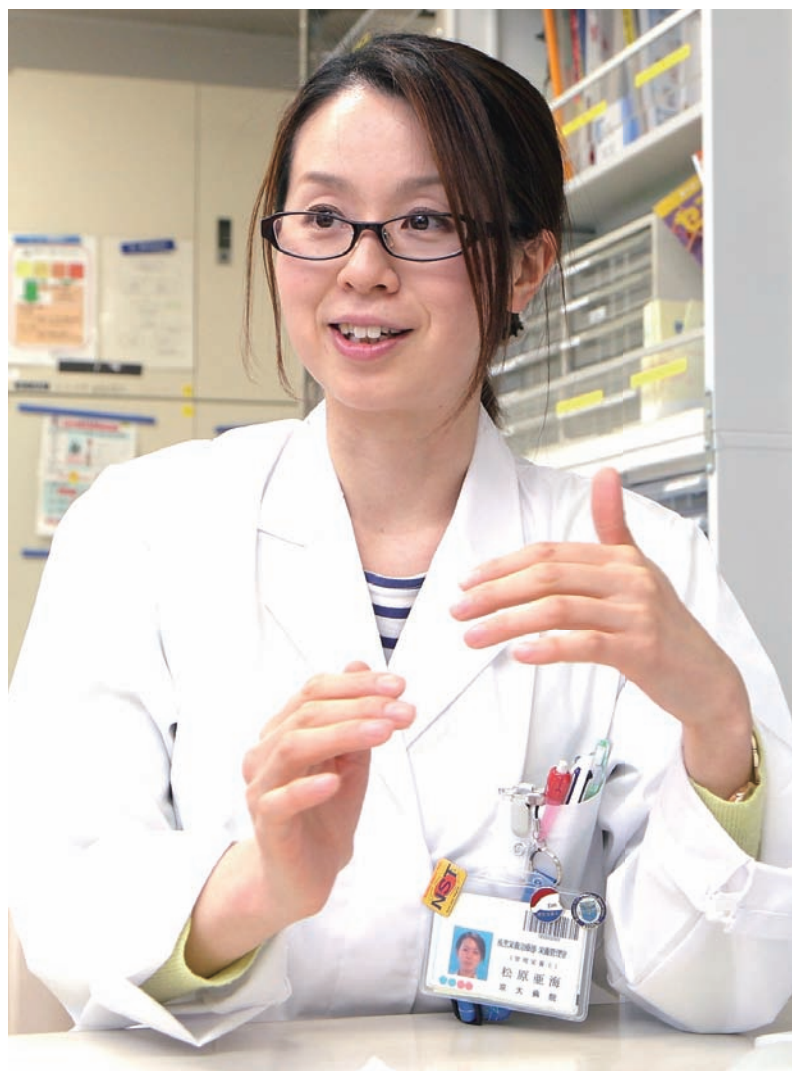
「オリンピックをきっかけに、勝手に”決意!”」

1996年、アトランタオリンピック直前。あるテレビ番組で、体操の強化選手がファミレスで食事をしている姿が映りました。その瞬間、一人の女子高生の夢が動き出します。

「そんな食事でメダルがとれるの?と心配になって。だったら、私が何とかしよう。栄養士になろう!と勝手に決意してしまいました。今年もそうですが、オリンピックが開催される年になると、そんな”自分のほじまり”を思い出します」

松原さんは高校生の頃の”決意”を貫いて、大学卒業直後に管理栄養士の国家試験に合格しました。

「いきなりアスリートの栄養アドバイザーになるのは無理だと思い、実践的な知識と経験を積むために180床ほどの病院に就職しました」と、京都市内の病院を中心に保健所などでも勤務を経験。2006年に現在の職場である京都大学医学部附属病院(京大病院)の疾患栄養治療部栄養管理室に入職しました。「アスリートをサポートする栄養士をめざしていましたが、いつの間にか臨床の現場にどっぷり」と、患者さんと向き合うことができる今の仕事に夢中になっていきました。



#### 患者さんと向き合う臨床の現場で

「一人ひとりに合った栄養指導を」

京大病院は病床数1,000床を超える大病院。入院、外来ともに多くの患者さんが利用しています。松原さんが所属する栄養管理室では、給食の献立の見直しや衛生管理・施設管理などを行う「給食管理業務」や、患者さんへの栄養指導、また医師・看護師とチームを組んで入院患者の栄養面をサポートするNST(栄養サポ

ートチーム)を含む「栄養管理業務」などを行っています。医師や看護師を中心に様々な職種のスタッフが患者さんのために働く病院。その中で、栄養面でのアプローチから健康をめざす栄養士の仕事の魅力についてこう語ります。

「患者さんとゆっくり話せることです。栄養指導はだいたい1人につき20~30分くらいの時間をかけます。ですから、多くの患者さんを診察しなければならない医師と比べると、管理栄養士は患者さんにより親身になって接することができるんです」そうして信頼関係を築き、最適な療法を見つけて実施していく中で「健康面で良好な結果が現れ患者さんが喜ばれている姿を見たときは、とても嬉しいですよ」と話します。

一方で、時に管理栄養士は患者さんに負担を強いなければならない場面もあります。「エネルギーや塩分の摂取を控えたり、禁酒を促したりしなければならないこともあります」。しかし松原さんは、好きな食べ物を完全に禁止してしまうのではなく、量を加減したりすることで、「食べる楽しみ」を奪わないように気を付けていると言います。さらに、同じ病気を患っている患者さんでも画一的な指導をするのではなく、「一人ひとりのライフスタイルに合った食事療法を考えるように心がけています。新しい食事療法にも敏感になって、患者さんに正しい情報を伝えたい」と話します。

いつも真摯(しんし)な姿勢の松原さんを信頼して、「先生(医師)には言えなかったけれど、実はお菓子を食っちゃって」と告白する患者さんもいるとか……。 「とにかく患者さんの気持ちに寄り添った指導を心がけています。患者さんが信頼してくれて、どんなことでも相談してもらえるようになると嬉しいです」

その笑顔には、松原さんになら何でも話そう、そう思わせる朗らかな魅力があります。

#### 大学院へ社会人入学。背中を押したのは樟蔭時代の恩師

「食いしん坊仲間たちと、家族のような学生時代」

大学病院では、「研究」も大切な仕事。ちょうど京大病院に入職して3年が経った頃、松原さんは仕事をしながら通学できる京都の大学院に入学しました。

「学生時代は資格取得の勉強で一生懸命でしたし、ゼミではグループでの研究が中心でした。仕事では個人で『研究』することが求められたので、大学院に行き、論文の書き方や学会発表についてなど『研究の方法』を改めて学びたいと考えていました。また、京大病院でいろいろな疾患を持った患者さんと接していて、臨床のことについてもっと本格的に学びたいと感じていたのです」

そんな松原さんの背中を「大学院入学はきっとプラスになるよ」と

押ししてくれたのが、健康栄養学科の打田良樹教授。松原さんは樟蔭在学中、打田教授の食品衛生学研究室に入っていました。卒業後も転職のことなど打田教授にアドバイスをもらい、「お世話になりっぱなし」だといいます。

「地元の京都でアルバイトをしていたので、3回生までは授業が終わるとすぐ帰るという生活だったのですが、4回生で打田先生の研究室に入って、実験のために学校にいたことが多くなりました。打田先生は本当に気さくで、お昼ごはんを一緒に食べたり、みんな恋の悩みなんかも相談していましたよ。私が国家試験と就職活動が重なって不安になっていた時も、話をゆっくり聞いて『焦らないで大丈夫だから』と安心させてくださいました。先日大学院卒業の報告でお会いしたばかり。『ね、行ってよかったでしょう?』と喜んでくださいました」

松原さん曰く「食いしん坊ばかりのゼミだった」とのこと。仲間たちと美味しいものをよく食べに出かけたそう。「ひつまぶしや味噌カツを食べに名古屋に行ったり。家族のように居心地のいいゼミでしたね。学生時代の一番の思い出です」

#### 学生たちへのメッセージ

「いろんなことに興味を持って、積極的に挑戦を!」

樟蔭のおおらかな校風が印象的だったと話す松原さん。「私はそんなに出来のいい学生ではなかったと思うのですが(笑)、先生方は親身になって勉強を教えてくださいました。片道1時間半ほどかかる通学が大変だと感じることもありましたが、のんびりとした学校の雰囲気が好きでしたね」と、卒業後は「樟蔭で良かった」と思い起こすことが多いとい

います。最後に学生たちへのメッセージをお伺いしました。

「私が学生時代に戻ったら何をするか考えた時、もっと積極的に先生に質問などしておけばよかったと思います。先生方はその道のプロフェッショナルばかり。ぜひいろいろなお話を聞いておいてください。そして、旅行やアルバイトなど様々なことにチャレンジしてください。知見を広めておくことは、どんな仕事にも役立つことだと思います」





## 先輩たちはどうやって夢を叶えたの? コツは? アドバイスは? 就職活動を頑張る後輩たちへ 自分を信じて、夢に向かって突き進もう!

3月に卒業した先輩方は、厳しい就職事情が続く中、公務員や教員、民間企業など、様々な分野に羽ばたいていきました。「面接ってどんな雰囲気?」「どういう対策をしたの?」夢を叶えた先輩にインタビュー。皆さんが気になる就職活動の体験やコツを教えてくださいました!



自分らしくを大切に、就活は楽しく!

### スタート当初は、焦ってパニックに……

父がアパレルメーカーに勤めていて、樟蔭を卒業した姉はスタイリスト。小さい頃から服が好きで、仕事にできればと考えていました。と言っても、就職活動を始めた3回生の10月頃は、様々な企業にエントリーをしました。当時はとにかく焦っていて、徹夜でエントリーシートを書いたり、予定のない日は不安になったり。負の感情ばかりが湧いて、「これじゃダメだ」と1週間ほど活動を休みました。そうしたら「やらなきゃ」と焦ってきて(笑)。でも、休んだ時期に自分を見つめ直し、「就活は午前中を中心に、夜は楽しくごはんを食べる!」と、メリハリのある活動を心がけるようになってから、精神的にも良くなり、結果もついてきました。

実際の活動では、父や姉、アパレル関連に勤める先輩など、業界を良く知る方々からアドバイスを貰うことが多かったです。例えばエントリーシートでは志望動機などの書き方が分からず、本を参考にしていたのですが、落ちてばかりでした。そんな時、家族から「もっと自分らしく自由に書いていいんだよ」と言われて。それまでは良く思われようとしていたので、「単純に言いたいことを伝えればいいんだ」と思うことができました。面接についても、父が「面接官も家に帰ればお父さんと同じだよ」と言ってくれて、怖くなくなりましたね。「自分らしく」を大切にすると、エントリーシートも面接も楽しくなっていました。

### 早めに始めて、早めにコツを掴む!

3月上旬には、アパレルを中心に数社から内定を

いただきました。しかしそこで働くビジョンが見えなくて、辞退させていただいたことも。そんな中で出会ったのがミキハウスです。ミキハウスはとにかく社員の皆さんの笑顔が素敵で、「普段も楽しいんだろうな」と働く姿が想像できました。次第に憧れが強くなり、内定をいただいた時はとても嬉しかったです。今の目標は、お客様が「会いたい」と思う販売員になることです。

就職活動は、失敗しながら少しずつコツが分かってくると思います。迷った時は私のように休めばいいと思います。そういった意味でも早い時期に始めることは大切だと思います。いま振り返ってみると「楽しかった」というイメージのほうが強いんですよ。街で、落ち込んだ顔をしたスーツ姿の学生さんを見かけると、「就活は楽しいよ」と声をかけたくります。辛い時もありますが、皆さんもぜひ楽しみながら自分の夢を実現させてください!



Employment support  
就職サポート



### “ちよつとずつ”の積み重ねを着実に

「向いてるんじゃない?」と私を生徒会に推薦してくれたのは中学校の先生。「いつも味方でいるよ」と言ってくれたのは高校の時の先生。これまでたくさんの素敵な先生に出会って、いつか自分もそんな先生になりたいと思うようになりました。樟蔭を選んだのは、小学校だけではなく幼稚園の教諭と保育士の免許も取得でき、視野を広げられると思ったから。ただその分、4回生まで毎日授業があったので、平日は、採用試験のためにまとまった勉強時間をつくるのが大変でした。そこで私が編み出したのは“ちよつとずつ”の積み重ね勉強法。例えば、学校に少し早く来て授業の前に30分~1時間ほど勉強するなど、ちょっとした時間でも積み重ねていくと何十時間にもなります。また一

緒に教員をめざす友人と「過去問題を解く日」など目標を細かく設定し、「その日まで頑張ろう!」と休日も集まって勉強しました。面接の練習にも力を入れました。ほぼ毎日、昼休みに大学の先生にアドバイスをいただいたり、家では家族や鏡の前で練習。自動車通学だったので、車の中で自己PRを声に出して言ってみたり。とにかく笑顔を大切に何度も練習しました。

### いざ本番! 初試験では、頭が真っ白に……

私は採用された奈良県が本命だったのですが、先行して受験できた他府県の採用試験にもチャレンジしました。この時の一次試験の面接では、練習では当たり前でできていたノックやお辞儀など基本的なことさえ忘れてしまったほど、緊張で頭が真っ白になってしまっていて……。終わった後はとても落ち込みましたが、気持ちを切り替えて「いい練習になった」と思うようにしました。その後の奈良県の試験では、それまでの成果を出し切れて「やりきった!」と思えました。やはり初めての試験は緊張するものです。日頃の練習はもちろん大切ですが、他府県の試験も受けておいて本当に良かったと思います。「教師は子どもたちの未来につながる職業」。これは、面接などのアドバイスをくれた先生の言葉です。この言葉があったから、先生という夢を一途に追いかけることができました。また、樟蔭で出会った友人たちにもたくさん励まされました。責任重大の仕事ですが、これまで出会った先生方のように、子どもたち一人ひとりをしっかり理解できる先生になりたいです。

### Voice 2

香芝市立旭ヶ丘小学校  
教諭

児童学科  
2012年3月卒業

奥澤 歩未さん  
おくざわ・あゆみ



夢だった「小学校の先生」に現役合格!

## 「キャリアサポートプログラム」が充実しています!



本学ならではの「キャリアサポートプログラム」を通して、学生が主体的に自己の進路を選択、決定できる能力を育て、夢や希望を実現できるようサポートしていきます。キャリアサポートプログラムは就職支援行事の開催、キャリア科目の開講、インターンシップの実施、資格対策講座などがあります。

### PICK UP! 就職支援体制

#### 就職ガイダンス

就職活動をスムーズに行うため、3回生時に年間8回実施しています。前年度の就職状況、業界・企業の最新情報を伝える他、自己分析の仕方、エントリーシートの書き方など、就職活動開始から内定まで、時期に応じて活動をサポートしています。ガイダンスの他にも、各種業界セミナーやOG懇談会、内定者報告会、筆記試験対策講座等を開催しています。さらには、11月から就職希望者全員に就職や進路に関する個別面談を実施しています。

### PICK UP! キャリア科目

#### 「キャリア設計」

自分を知り、社会を知ることを通して、将来、自分にとって望ましい生き方・働き方が実現できるように、自分の長所や強みを見つけていきます。

#### 「キャリア開発」

社会で求められる能力を身につけるため、チームで取り組むプロジェクトを繰り返し、自分で考え行動する力、課題解決力、コミュニケーション力、チーム力を養います。

#### 「キャリア研究」

実際に企業訪問、現場視察のフィールドワークに取り組み実践力を高めます。就職活動及び将来設計に自信と積極性を持って取り組めるよう実践的に学びます。



### 就業体験型インターンシップ

#### 企業や自治体で、仕事とは? 社会人とは? を学ぶ

夏休み期間の約10日間、様々な業種の企業や自治体で就業体験を積みみます。働く上での責任感や常識などを実際に学ぶことができます。さらに、営業同行などを体験することで、新たな自分の適性を発見することにつながります。

#### 実習先

※平成23年度実績

アイン食品(株)、朝日新聞大阪本社、セラトンドホテル大阪 など

## 本学には、3つのタイプのインターンシップ制度があります。

### 学生提案型インターンシップ

企業と共同で、商品企画・マーケティングにチャレンジ。商品開発や市場調査など企業のニーズ・課題に対して、学生が消費者としての視点、女性ならではの視点を活かした提案をまとめ上げていきます。実習期間は長期にわたりますが、企業活動の本質を学ぶことができます。

#### 実習先

※平成23年度実績

コリス株式会社(菓子製造)、サナダ精工(100円均一製品製造)、泉南乳業(飲料製造) など

### 教育インターンシップ

#### 教育の現場で教師や子どものサポートを体験

近隣自治体の教育委員会との連携のもと、主に夏休み期間を利用して幼稚園、小学校、中学校などで一定期間実習を行います。多様な教育支援活動に参加することで、教育現場の楽しさや厳しさを認識することができます。

#### 実習先

※平成23年度実績

東大阪市立上小阪小学校、大阪市立真山小学校、東大阪市立俊徳中学校 など



大学・大学院・短期大学部

## 学生広報チーム「ステラプロジェクト」が活躍中!

ステラプロジェクトは、大学の魅力をPRするために、学生自らが魅力的なキャンパスライフを企画・実現させながら、その活動内容を学内外に発信していくために結成したチームです。

2012年1月にスタートしたばかりですが、フリーペーパーの発行や人気ショップとコラボしたスイーツの開発など、すでに様々な企画を形にしています。

### これまでの活動

女子高校生向け  
フリーペーパー  
「Chocolat」を創刊

2012年2月に創刊した

「Chocolat」(ショコラ)は、ファッション誌の編集プロダクションやカメラマンなどと協力し、学生が企画から取材・編集まで携わって制作しています。記念すべき創刊号では、大阪・ミナミのカフェや樟蔭生のファッション、料理レシピなどを紹介。とてもおしゃれでかわいいフリーペーパーです。女子高校生限定で配布しています。



### スイーツ部がコラボ品の開発・販売

小阪キャンパスの近くにある人気カフェ「フランク」との協同開発により、自分たちで考えたスイーツとサンドイッチ計4種類が商品化されました。商品はこれまでに3月のオープンキャンパスや4月のステラプロジェクト説明会に参加したたくさんの人に食べていただき、大好評でした。これらの商品は、小阪キャンパス食堂のほか、「フランク小阪店」でも販売中です。



### 受験生のための学生ブログ「毎日のこと」がスタート!

高校生の皆さんに大学の様子や楽しさを知っていただくこと、在学生によるブログ「毎日のこと」を開設しました。テーマは「未来のこと」「学びのこと」「入試のこと」など。学生が撮影した写真も満載で、大学生の「今」を感じることができます。

URL: <http://cheer.osaka-shoin.ac.jp/mainichi/>



## 新入生オリエンテーションが行われました!

4月5日(木)・6日(金)の新入生オリエンテーションは、1日目は学科ごとに学内で、2日目はキャンパスごとに学外で行われました。

1日目は、新入生と教員、新入生をサポートする在校生有志の「ピアカン(ピア・カウンセラー)」たちが集まり、学科ごとにさまざまなイベントを通して交流しました。

自己紹介を兼ねたグループワーク、ピアカンによるキャンパスツアーや履修相談のほか、学科によっては、「樟蔭館」の見学、チーム対抗で1枚の布を使っての即席の「ファッションショー」などが行われました。

2日目は、小阪キャンパスの学生は神戸へ、関屋キャンパスの学生は奈良公園へ。協調性や団結力、リーダーシップなどを育てるための「宝探し」を実施しました。



### イベント報告

## ヤングアメリカンズ2012夏が開催されました!

5月2日(水)～4日(金)の3日間、ザ・ヤングアメリカンズ・アジアツアー2012夏が奈良県の香芝市モナミホールで開催され、本学からも多くの学生が参加しました。

「ヤングアメリカンズ」はカリフォルニアを拠点に17～25歳の若者たち約300名で構成する団体で、子どもたちを対象にした歌やダンスのワークショップを世界各地で開催しています。大阪樟蔭女子大学は共催団体として毎年このイベントに協力しており、今年は発達教育心理学科1回生がアウトリーチ参加者として、2回生がボランティアスタッフ「K S(キッズサポーター)」として、参加しました。参加者は歌やダンス、グループワークショップなどを体験し、最終日の4日は夕方からショーが行われ、参加者は一丸となり、これまでの練習成果を存分に発揮しました。参加者にとって、充実の3日間となりました。



### イベント報告

## 堀江プロジェクト説明会 & 報告会が行われました

新入生を迎えた4月、大学では両キャンパスで5日間にわたって、新入生と在学生を対象にした堀江プロジェクトの説明会・報告会を開催しました。堀江プロジェクトは、大阪市西区の堀江地域の活性化を目的に立ち上げられ、地域と学生が協力してイベントなどを行っています。

説明会では、担当の先生からの説明やメンバーによる質疑応答、報告会ではメンバーが、パネルを使ってこれまでの参加イベントについての感想を語りました。「社会人の方と接する機会があり、勉

強になる」「自分たちの企画が通った時の充実感はとても大きい」など、充実ぶりがうかがえました。最近では「堀江立花通ユニオン」と協働し、2012年2月10日(金)～12日(日)に「堀江DEバレンタイン・ショッピング」を開催しました。立花通りに大きなバレンタインツリーを設置し、堀江を訪れた人に書いてもらった300枚のメッセージカードをツリーに飾り付け、イベントは盛況となりました。プロジェクトでは、今後も学生を中心に様々な活動をしていく予定です。

### 活動報告



## 第4回田辺聖子文学館ジュニア文学賞の表彰式が開催されました

表現力豊かな若い世代を育成することを目的として、中学生・高校生を対象に創設された「田辺聖子文学館ジュニア文学賞」。毎年応募数が増加しており、今回は第3回を大きく上回る20,125点の応募作品が集まりました。

表彰式は3月23日(金)に小阪キャンパスの円形ホールにて行われました。本学卒業生で芥川賞作



家の田辺聖子先生や著名な審査員にお集まりいただき、受賞者たちに表彰状や副賞などが手渡されました。

表彰式後半には、2004年に過去最年少の19歳で芥川賞に選ばれ、今年2012年には大江健三郎賞を受賞された、綿矢りさ先生の記念講演が行われました。「(作品を)作り出すむずかしさ」をテーマにお話いただき、「心の内をさらけ出すこと。うそは見抜かれる。(書くことは)自分自身との対峙を迫られる」と説いてくださいました。講演後は多くの質問に一つ一つ丁寧に回答され、創作活動に取り組む若者たちにとって貴重な時間となりました。

### イベント報告



### 報告

## 田辺聖子さんの未発表作品が発見されました

作家の田辺聖子さんが、本学在籍中に書いた未発表の短編小説「十七のころ」の生原稿が見つかりました。作品はルーズリーフ5枚に書かれており、田辺聖子文学館に寄託された資料の中にありました。田辺さんは1984年の自伝「しんこ細工の猿や雉(きじ)」において、この作品について触れていましたが、どこにも掲載されておらず、原稿も見つからなかったことから、長らく「謎」の作品とされてきました。物語は洋裁学校に通う内気な少女を主人公に描かれたもので、文学館の中副館長は「田辺文学の原点ともいえる、大変興味深い作品」と話しています。田辺文学館でも展示を予定しています。この発見は、大手の新聞各紙でも取り上げられました。

## 小阪キャンパスの大学食堂と学生ラウンジがリニューアル!

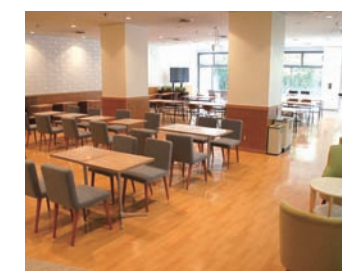
小阪キャンパスの大学食堂と地下1階の学生ラウンジをリニューアルしました。

食堂は、受け取りカウンターにメニュー用の黒板を設置し、カフェ風スタイルに変身。さらに、60インチの液晶モニターを設置し、大学からの案内を流すほか、テレビを見ることもできます。

学生ラウンジは、地下にありながらも窓から降り注ぐ温かい自然光が心地よい空間になりました。ソファーや低反発仕様の椅子を配置し、ランチに、自習に、授業の合間にと、思い思いに利用できます。



### 施設



### 受賞

## 国文学科4回生が日本学書展で文部科学大臣賞を受賞しました

奈良県などが主催する「第58回 日本学生・生徒・児童書道展覧会」(日本学書展)において、本学の国文学科4回生の●●●●さんが「仮名・漢字仮名交じり」の部門で文部科学大臣賞を受賞しました。

日本学書展は全国各地から毎年多数の優秀な作品が寄せられ、今年は小学生から大学生までの書道作品10,272点が集まりました。入賞作品は、2011年11月10日(木)～13日(日)に奈良市美術館にて展示され、13日に奈良市役所で行われた表彰式では、本人による席上揮毫が行われました。



※受賞当時の学年で表記しています。



**速報!**

**管理栄養士国家試験 合格率100%を達成!**

第26回管理栄養士国家試験の合格発表が5月7日(月)に行われ、本学の現役合格率は100%、78名が全員合格という快挙を成し遂げました。これは手厚いサポート体制を実践してきた、健康栄養学科の優れた教育プログラムの成果であり、これからもサポート体制のさらなる充実を図っていきたくと考えています。

**高橋晴子教授が  
NYのシンポジウムで研究発表**

国文学科の高橋晴子教授が、昨年11月11日(金)、12日(土)にニューヨークで開催された国際シンポジウム「The Third International Conference on Diaspora and Design」で研究発表を行い、表彰されました。表彰された研究内容は、今後の博物館や美術館では、資料をデジタル化して保存することが必要であることを日本の着物を例に発表されました。

**学生表彰**

3月に学生表彰が行われ、学業や課外活動等において顕著な成績を収め、他の学生の範となった学生に対し、その功績を讃えました。学業優秀者表彰では森平蔵賞が卒業生13名に、学業奨励賞が1~4回生45名に贈られ、課外活動等表彰としては学長賞が4回生5名に贈られました。

**(1) 学業優秀者表彰 学業において研鑽に励み、他の学生の範となった個人を表彰します。**

**■森平蔵賞(平成24年3月卒業生)**

在学中の学業成績が評価され、学園創設者森平蔵氏の名を冠した賞。卒業年次の学生に贈られます。

- (大学院・臨床心理) ●●●●●(国文/国文学) ●●●●●(国文/歴史文化) ●●●●●(英文) ●●●●●●●(食物栄養/管理)
- (食物栄養/食物) ●●●●●(被服/アパレル) ●●●●●(被服/化粧品文化) ●●●●●(インテリアデザイン)
- (ライフプランニング) ●●●●●(心理) ●●●●●(児童) ●●●●●(短期大学)

**■学業奨励賞 23年度中の学業成績が評価され、次年度以降もたゆまず学業研鑽に励まれるよう期待を込めて贈られる賞。 ※( )内は回生を記載。**

◆国文/国語・国文学コース ●●●●●(2) ●●●●●(3)	◆被服/被服学専攻 ●●●●●(2) ●●●●●(3) ●●●●●(4)
◆国文/創作表現コース ●●●●●(2) ●●●●●(3)	◆被服/化粧品専攻 ●●●●●(2) ●●●●●(3) ●●●●●(4)
◆国文/キャラクター文芸コース ●●●●●(2) ●●●●●(3)	◆インテリアデザイン ●●●●●(2) ●●●●●(3) ●●●●●(4)
◆国文/国文学専攻 ●●●●●(4)	◆ライフプランニング ●●●●●(2) ●●●●●(3) ●●●●●(4)
◆国文/歴史文化専攻 ●●●●●(4)	◆臨床心理 ●●●●●(2) ●●●●●(3) ●●●●●(4)
◆国際英語 ●●●●●(2) ●●●●●(3)	◆発達教育心理 ●●●●●(2) ●●●●●(3) ●●●●●(4)
◆英米文 ●●●●●(4)	◆ビジネス心理 ●●●●●(2) ●●●●●(3) ●●●●●(4)
◆健康栄養/管理栄養士専攻 ●●●●●(2) ●●●●●(3)	◆児童 ●●●●●(2) ●●●●●(2) ●●●●●(3)
◆健康栄養/食物栄養専攻 ●●●●●(2) ●●●●●(3)	●●●●●(3) ●●●●●(4) ●●●●●(4)
◆食物栄養/管理栄養士専攻 ●●●●●(4)	◆短期大学部 ●●●●●(2)
◆食物栄養/食物栄養専攻 ●●●●●(4)	

**(2) 課外活動等表彰 課外活動において優秀成績を収めた個人または団体を表彰します。**

**■学長賞 個人**

- (国文学4回生) ●●●●●(被服4回生) ●●●●●(インテリアデザイン4回生) ●●●●●(児童4回生) ●●●●●(児童4回生)
- 【理由】「第58回日本学生・生徒・児童書道展覧会高等学校学生大学学生(仮名及び漢字仮名交じり)」の部において優秀な成績を収めたことにより奈良県・奈良市・奈良県教育委員会・奈良市教育委員会より表彰されました。
- 【理由】DEZAIN MONKEYS実行委員会主催「KANSAI FASHION CONTEST」にMonoceros.(モノケロス)のメンバーとして出場(衣装デザイン、制作)し、大阪市学長賞を受賞しました。
- 【理由】平成22年度商品装飾展示作業2級技能検定試験において優秀な成績を収めたことにより大阪府職業能力開発協会より表彰されました。
- 【理由】「第12回大阪国際音楽コンクール」アマチュア部門シニアコースにおいて、ファイナル出場を果たしました。
- 【理由】「第12回大阪国際音楽コンクール」アマチュア部門シニアコースにおいて入賞、エクセレントコースにおいて入選と2部門において活躍しました。

**■学長賞 団体 ※平成23年度 推薦者なし**

※表賞当時の学年で表記しています。

**被服学科3回生が  
「DEZAIN MONKEYS 02」で  
大阪市長賞を受賞!**

被服学科4回生の●●●●さんが、2011年10月8日(土)に大阪・南港のATCホールで開催されたファッションイベント「DEZAIN MONKEYS 02」で行われた「KANSAI FASHION CONTEST」に参加団体の一つ Monoceros.(モノケロス)のメンバーとして出場し、大阪市長賞を受賞しました。

このイベントは、関西の大学や専門学校の服飾を学ぶ学生から成る「DEZAIN MONKEYS」実行委員会が主催し、「関西ファッションの再構築」をコンセプトに開催されたものです。Monoceros.は複数の大学から集まった29名で構成され、●さんは衣装デザインと制作を担当。「Origin(起源)」をテーマに生地の染色からオリジナルで制作し、個性が際立った作品に仕上げたことが評価されての受賞となりました。

※受賞当時の学年で表記しています。

**受賞**



**「愛情お弁当コンテスト」で  
健康栄養学科の学生が特別賞を受賞!**

「第10回愛情お弁当コンテスト」(イズミヤ(株)など主催)に健康栄養学科の学生4名で企画したレシピが、応募総数約350点の中から特別賞に選ばれました。受賞作品は『体に優しいからふる弁当』で、「20代の女性に食べてほしい!」という思いを込めて、鉄分や食物繊維など20代女性に必要な栄養素が摂取できる点や、彩りの鮮やかさをアピールしました。

**受賞者**

- 健康栄養学科2回生



※受賞当時の学年で表記しています。

**受賞**



**表彰**

**中学校・高校**

**34年前の留学生が樟蔭に帰ってきました!**

4月10日(火)、かつて樟蔭高校の留学生だったクリスティン・ウエストさんが、アメリカから34年ぶりに来校されました。

クリスティンさんは1978年、留学生として本校で1年間学ばれました。言葉や文化の違いからホームシックにもなりましたが、ホストファミリーや同級生が優しく接してくれたことが強く印象に残ったそうです。

34年ぶりの同窓会は当時の先生やホストシスター、同級生との思い出話で大いに盛り上がりしました。また、クリスティンさんは、全校生徒の前で異文化体験についてスピーチしてくださいました。その中で「樟蔭高校とホストファミリーのおかげで、

私は深く日本を理解することができました。言語は他の国の心を理解する大切な道具です。皆さんには海外でいろいろな経験をしてほしいです」などと話されました。

今回の訪問は、生徒たちにとっても樟蔭高校の国際交流の歴史の深さを知ることができる貴重な機会となりました。



**イベント報告**

**活動報告**

**第15回  
デジタル・アーカイブコンクール受賞**

2011年度の技術(情報)(指導教官:船田智史)の授業で当時の中学1年生(現2年生)82名がポイントで作成したビデオ作品が、「第15回デジタル・アーカイブコンクール」(日本デジタル・アーキスト資格認定機構など主催)の中学生部門で「学校賞」を受賞しました。

このコンクールは地域の特色や魅力を、動画やホームページなどのデジタル作品で表現するもので、今回は中学校から一般まで約240作品の応募の中から35作品が入賞しました。作品は、樟蔭学園の校歌をプロモーションビデオに仕立てたもので、生徒たちは、国語の時間に古語で書かれた歌詞を現代語に訳して理解をし、音楽の時間には校歌を歌う自分たちの声を録音、技術(情報)の時間に生徒がイメージ写真の撮影と編集作業をすべて行って完成させました。このように、82名がそれぞれ作成したプロモーションビデオを収録したデジタル作品集が評価され、今回の受賞につながりました。

**活動報告**

**第2回身体表現コース開設記念発表会が行われました!**

昨年開設した身体表現コースの第2回発表会を、5月5日(土)東大阪市立市民会館で開催しました。

中学校・高校のパントワリング部や新体操部、ダンス部の華やかで迫力ある演技や、樟蔭ジュニア・幼稚園の園児によるかわいらしい演技も披露されました。また、OGによる演技や吹奏楽部による演奏など、今年もバラエティ豊かな内容で観客を魅了しました。



**新入生歓迎会が行われました**

4月11日(水)、会館で新入生に向けてのクラブ・委員会の紹介が行われました。生徒会執行部の紹介の後、吹奏楽部の力強い演奏でクラブ紹介が始まりました。樟蔭高校には33種類(文化系クラブ19、運動系クラブ14)ものクラブがあり、大会や発表会に向けて日々練習に励んでいます。ダンス部や新体操部などの運動系クラブによる華やかな演技のほか、美術部の大型作品の披露や軽

音楽部による演奏などもあり、会場は大いに盛り上がりしました。また、映像での紹介をはじめ、歌やハンドベル、新入生へのメッセージ付きのダンスなど、工夫された発表が盛りだくさんで、新入生はわくわくしながら聞き入っていました。

**受賞**





## バトントワリング部 全国大会で 出場全チームが2年連続の金賞受賞!

クラブ活動

第39回マーチングバンド・バトントワリング全国大会が1月7日(土)、8日(日)に千葉の幕張メッセで開催され、出場したバトントワリング部の全チームが金賞を受賞しました。出場したのは高校のバトンチームとポンポンチーム、中学校・樟蔭Jr.バトンチームの3チーム。いずれも昨年に続き、2年連続金賞



の快挙を成し遂げました。

さらに、ポンポンチームは昨年受賞した「人数編成別優秀賞(小編成)」に加え、「手具編成別最優秀賞」も併せて受賞し、名実ともに「日本一」のポンポンチームとなりました。年々レベルアップするバトントワリング部のより一層の活躍が期待されます。

## 新体操部 & スキー部 全国大会出場!

クラブ活動

新体操部は、3月25日(日)~27日(火)に山梨県の小瀬スポーツ公園体育館で開催された第27回全国高等学校新体操選抜大会に出場しました。●●●●さん(高校2年花組)、●●●●さん(同冬組)、●●●●さん(同秋組)、●●●●さん(同花組)、●●●●さん(同花組)、●●●●さん(高校1年秋組)、●●●●さん(同冬組)が女子団体に



出場し、減点のない演技で17位と健闘しました。

またスキー部は、第62回大阪高等学校総合体育大会で●●●●さん(高校2年春組)が女子クロスカントリー・フリーの部とクラシカルの部でそれぞれ6位、7位という好成績を収め、インターハイ出場を決めました。

※試合当時の学年で表記しています。



## 幼稚園

### 関屋キャンパスに遠足に行きました!!

4月12日(木)、年長組の月組・虹組が関屋キャンパスに遠足に行きました。新しいクラスになって初めての遠足で、子どもたちは前日からとても楽しみにしていました。胸をはずませ、いざ関屋キャンパスへ出発。年長児らしく長時間の移動もスムーズにでき、キャンパスにたどり着くまでのたくさんの階段もとても楽しそうに登っていました。この日は天候に恵まれ、桜も満開。チューリップなどの花々も咲き誇る中、花の匂いを嗅いだり広い

芝生で思いっきり身体を動かしたり、春の自然を満喫しました。児童学科の先生や学生と一緒に弁当を食べ、鬼ごっこや体操をして遊びました。子どもたちは「遠かったけど、楽しかった」「暖かくて気持ちよかった」と話しており、心に残る一日となったようです。



## 報告

## BOOK Info.

### 書籍紹介

大学 児童学科 菅正隆 教授 共著  
「入学前の準備で差がつくナイススタート 中学英語」  
(全111頁 / 2011.10.10.文英堂)  
小学校外国語活動の復習と、中学英語の基礎的な「聞くこと、読むこと、書くこと」を同時に学べる学習書で、今から英語を学ぼうとする人にとっても最良の書となっています。



大学 児童学科 神林信之 教授 著  
「教材構成の力を鍛える」  
(全265頁 / 2011.11.10.晃洋書房)  
子どもの学びにおける理解を助ける具体的方策を示しました。SCANS報告書やBishopの論考等、わが国では未消化の研究についても紹介し、授業実践と考察を述べました。



### 平成25年度の募集学科および定員の改編について

大阪樟蔭女子大学は、平成29年に学園創立100周年を迎えるにあたり、新しい教育体系の再構築に備えての改革をスタートいたします。これに伴い、平成25年度募集学科および定員について、右記のように改編いたします。なお、今回の改編により募集停止となる学科についても、在学生への教育責任を果たすとともに、卒業されるまで万全の体制でサポートして参ります。

### 平成25年度改編の主な内容

- ①発達教育心理学科を「心理学科」へ名称変更、ビジネス心理学科を募集停止とします。心理学部を「臨床心理学科」と「心理学科」の2学科体制とし、ビジネス心理学科の学びは新しい「心理学科」へと引き継ぎます。(届出中)
- ②学芸学部ライフプランニング学科の募集定員を40名に変更します。(届出中)
- ③学芸学部インテリアデザイン学科の募集を停止します。

## みんなの声

テーマ  
「**新入生に伝えたい  
樟蔭のいいところ**」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。  
新しい生活には、もう慣れましたか?  
「樟蔭」には素晴らしいところがたくさんありますよ。  
中学校・高校・大学の先輩たちに「樟蔭のいいところ」を  
画用紙いっぱい描いてもらいました!



健康栄養学科3年生 ●●●●さん  
国文学科2年生 ●●●●さん



ライフプランニング学科4年生 ●●●●さん



被服学科4年生 ●●●●さん



3年生組 ●●●●さん



3年生組 ●●●●さん



3年生組 ●●●●さん



3年生組 ●●●●さん  
2年生組 ●●●●さん



3年生組 ●●●●さん





## オープンスクール・オープンキャンパスのお知らせ

※11月末までのイベントを掲載

行事	日程	時間	内容	申込
オープンスクール	6月23日(土) 8月25日(土)	14:00-16:30	全体説明会・体験授業・校内見学・個別相談など	必要
中 学 プレテストI	10月13日(土)	8:30-12:00	2教科と解説授業	必要
プレテストII	11月18日(日)	8:30-12:30	2教科・4教科	必要
オープンスクール	7月16日(月・祝) 8月26日(日) 11月10日(土)	14:00-16:30	全体説明会・体験授業・校内見学・個別相談など	必要
クラブ体験会	10月6日(土)	14:00-16:00	クラブ体験・校内見学・個別相談など	必要
高 校 入試説明会	10月27日(土)	14:00-16:00	国・数・英の入試解説・校内見学・個別相談など	不要
健康栄養コース特別講座	11月23日(金・祝)	10:00-12:30	健康栄養コース教育アドバイザー 田中 愛子先生による受験生を対象とした特別講座	必要 (定員40名)

参加者全員に、SHOINオリジナルグッズをプレゼントします!

■会場：樟蔭中学校 / 樟蔭高等学校(東大阪市菱屋西4-2-26)  
■お問い合わせ：中高幼事務室 TEL: 06-6723-8185

行事	日程	時間	内容	申込
大 学 オープンキャンパス	6月17日(日) 7月29日(日) 8月12日(日) 9月2日(日)	10:00-15:00	個別相談コーナー/学科別体験講義/入試概要説明/AO入試説明会/学食ランチ体験/在学生によるキャンパスツアー など	不要
小阪・関屋 同時開催	ミニオープンキャンパス	10月8日(月・祝) 11月17日(土)	在学生によるキャンパスツアー・大学概要説明・ミニ授業・スイーツ付き個別相談など	不要

参加者全員に、SHOINオリジナルグッズをプレゼントします!

■お問い合わせ：学園広報室 TEL: 06-6723-8274

★オープンスクール・オープンキャンパスの詳細は、本学ホームページ(<http://www.osaka-shoin.ac.jp>)にてご確認ください。

## 第5回 SHOIN子育てカレッジ～絵本で広がる子育ての輪～

「SHOIN子育てカレッジ」は今年で5回目の開催を迎えます。今年も絵本をテーマに、音楽劇や手作り遊びなどのワークショップや絵本作家による講演会、劇団クラルテによる人形劇など、親子で参加いただける様々な活動を計画しています。また、「絵本ワールド」では1,000冊以上の絵本を展示し、ゆっくりと絵本を楽しんでいただけます。

日 時: 7月28日(土)・29日(日) 10:30 ~ 15:30

場 所: 関屋キャンパス

費 用: 無料

主 催: SHOIN子育てカレッジ実行委員会(児童学部)

共 催: 奈良こどものとも社

後 援: 奈良県、奈良県教育委員会、香芝市、香芝市教育委員会、葛城市教育委員会、広陵町教育委員会

お問い合わせ: 大阪樟蔭女子大学 児童学部研究事務室 TEL: 0745-71-3159



## 子育て支援 「樟蔭幼稚園 園庭開放」

「子育て支援事業」の一環として、地域の未就園の子どもたちを対象に園庭開放を行います。芝生で手あそびやボールけりをしたり、紙芝居を見たりして遊びます。(雨天の場合は遊戯室で遊びます)

対 象: 0～4歳までの未就園のお子さまと保護者(事前に申し込みが必要です)

時 間: 10:00～12:00

場 所: 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

費 用: 無料

定 員: 60名(定員になり次第締め切ります)

持ち物・服装: 水分補給の飲み物をご持参いただき、汚れてもよい服装で参加してください。

開催日【申込開始日】

6月23日(土)【5月21日(月)10:00～】

7月21日(土)【6月25日(月)10:00～】

8月25日(土)【7月23日(月)10:00～】

9月22日(土)【8月27日(月)10:00～】

10月6日(土)【9月24日(月)10:00～】

11月17日(土)【10月9日(火)10:00～】

お申し込み方法: ホームページまたはお電話でお問い合わせ下さい。

お問い合わせ: 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

URL: <http://www.osaka-shoin.ac.jp/kg/> TEL: 06-6723-8189



## 茶道・華道教室 受講生募集!

技術習得だけでなく、美意識の向上、人格の向上など個々の感性を磨くのに役立ちます。募集は4月と10月ですが、途中からの参加も可能です。

### ◆茶道: 古儀茶道 数内流

毎週月曜日・火曜日(どちらか1回/約40分) 実習費: 13,500円(半期分)

### ◆華道: 嵯峨御流

毎週木曜日・金曜日(どちらか1回/約40分) 実習費: 20,000円(半期分)

対 象: 在学生、保護者、卒業生

時 間: 両教室とも13:00～(授業の空き時間を利用しての参加も可能)

場 所: 小阪キャンパス 本館2階 茶道教室または華道教室

お問い合わせ: 樟蔭学園 広報室 TEL: 06-6723-8152



## フラワーアレンジメント教室 受講生募集!

季節のかわいいお花を使って素敵なオブジェを作ります。随時募集しておりますので、いつからでもお気軽にご参加ください。

稽古日: 毎月第2水曜日(8月は休講)

対 象: 在学生、保護者、卒業生

時 間: 13:00～17:00(随時)

場 所: 同窓会館2階

実習費: 1回 4,000円

お問い合わせ: 同窓会館 事務室 TEL: 06-6725-6157





「学ぶことの楽しさ」を  
発見!

異文化に触れて、

高校2年生

●●●●さん

北欧の国、フィンランドの首都ヘルシンキから北へ飛行機で約1時間半。北極圏のほど近くにロヴァニエミという街があります。昨年、●●●●さんは短期留学プログラムに参加し、高校1年生の夏休みをこの街で過ごしました。異国の文化に触れて、学ぶことへの考え方が変わったという寺野さん。苦手な分野の勉強にも楽しみを見出して取り組めるようになりました。様々な分野に興味を広げる中、「生涯学び続ける人でありたい」と、研究者になる夢を追いかけています。



**Profile** ●●●●さん  
樟蔭中学校卒業。留学したフィンランドが実は初めて訪れた外国だった。様々な経験ができた留学からの帰国後、両親には「強くなった」と驚かされた。

世界中に友達が増えた!

●●●●さんは、英語教師の母親の影響で英会話が得意。樟蔭中学校の2年時に英検2級に合格した英語力が認められ、先生からライオンズクラブが出資する短期留学プログラムを勧められました。寺野さんはこの留学に参加し、「ホームステイ」と「インターナショナルキャンプ(同じ留学プログラムにより各国に滞在している留学生が一ヶ所に集まって共同生活を行う)」をそれぞれ2週間ずつ、約1カ月間をフィンランドで過ごしました。

ホームステイ先の2歳年下のホストシスターとは、互いに好きな日本の漫画について盛り上がり、すぐに打ち解けたといえます。「留学前に日本のことを改めて学び、海外には過去の歴史から日本に良い感情を持っていない人もいますと知りました。けれど、フィンランドで出会った人は皆「日本が好き」と言ってくれた。現地には日本の国旗を掲げたお店もあって、とても嬉しくて安心しました。インターナショナルキャンプでは、30カ国以上の国からやってきた留学生とアクティビティや観光、現地の学校見学などを体験。「夕食後に誰からともなく歌い出して、3日経てば皆友達。音楽には言葉



国籍を超えて、たくさんの友達が増えたインターナショナルキャンプ

や文化の壁はないんだと実感しました。毎日クタクタになるまで遊んで、勉強して、すごく濃い時間を過ごせました。この留学で、世界中に友達が増えた一年となりました」と振り返ります。出会った仲間とは今もFacebookなどを通じて交流が続いています。今年の5月にはホストシスターが学校の留学制度で来日予定。16歳だった●●●●さんが一人で留学する姿に刺激されて決意したそうです。

帰国後の“フィンランドミラクル”

元々、●●●●さんは「興味を持ったことにはとことん熱中するタイプ」だといえます。これまでも、競技カルタや器械体操、絵を描くこと、音楽など、様々なことに熱中してきました。学校の勉強でも好きな教科はとことん勉強する、しかし一方で、苦手教科に対しては少し敬遠してしまうこともありました。しかし、留学から戻った後は成績が上がって驚いたそう。●●●●さんは「この現象を“フィンランドミラクル”と呼んでいます」と笑いながら、理由をこう分析します。

「フィンランドは勉強の概念が日本と違うと感じました。とにかく皆勉強を楽しんでいるんです。例えば現地の学校では、夏休みの宿題が“植物採集”だけ。興味があればその植物について調査してきなさい、ということなのですが、皆自主的に調べていました。建設の仕事をしてたホストファーザーは60近い年齢で、改めて建設について勉強しているんだ、と楽しそうに話してくれました。そんな空気に触れて、“勉強は楽しんでするもの”だと感じ、苦手教科の勉強にも楽しみを見つけれられるようになりました」

元々の「熱中する性格」に加えて、どんな学びにも楽しみを見出せるようになった●●●●さん。「生涯学び続ける人でありたい。そして、自分の学びを未来に役立てたいです」と、将来は新エネルギーなどを開発する研究者になることが夢だと話してくれました。

**CLUB NAVI** 11

大学

マンドリン部

マンドリン部は、創部50年を超える伝統あるクラブ。50期生となる、部長の●●●●さん(健康栄養学科3回生)と副部長の▲▲▲▲さん(同)にインタビューしました。



左から ▲▲▲▲さんと●●●●さん

マンドリンは優しく可憐な音色が魅力の楽器で、樟蔭のマンドリン部ではオーケストラ形式で演奏を行っています。現在の部員は3回生が4名、2回生が3名。週3回、樟蔭館を中心に練習をしています。毎年11月に行われる定期演奏会のほかに、合同演奏会にも参加するなど他大学との交流も活発です。

高音パートのマンドリン、中音パートのマンドラ、低音パートのマンドセロ、そしてクラシックギターで構成されています。私は、低音のどっしりとした落ち着いた音色が好きで、マンドセロを担当しています。

▲▲ 歌っているように感じるマンドリンの音色が好きですね。私の担当はクラシックギターですが、ギターでも歌っているような楽しい音色を奏でられればと思っています。

Q 普段の練習方法・活動内容は?

▲▲ マンドリン部は歴史も長く、プロの演奏家として活躍されている先輩もいらっしゃいます。今はそんなプロの先輩が先生として月に1回レッスンにきてくださっています。年に1回の定期演奏会では、先輩方と一緒に演奏したりもします。

▲▲ 学内での活動のほかに、関西の11大学のマンドリン部が集まった「大阪学生マンドリン連盟」にも所属して、合同演奏会、マンドリンフェアやマンドリンフェスタなどのイベントにも参加。毎年3月には合同演奏会に向けて他大学のマンドリン部と一緒に小豆島に合宿に行っています。

Q マンドリン部に入部したきっかけは?

▲▲さん(以下、▲▲) 私は大学に入学したころ、ギターが演奏できるクラブに入りたいと思っていました。マンドリンオーケストラにはギターのパートもあり、入学式で演奏されていたマンドリン部の先輩方の姿を見て「カッコいいなあ」と思ったんです。それで●●●●さんを見学に誘いました。

●●●●さん(以下、●●) そう、▲▲さんに引かれて(笑)。私は高校までお琴やエレキをやっていた、元々音楽が好きでしたが、マンドリンは初めて。初めて弾いた時は、キレイな音色で感動しましたね。

Q お2人の演奏パートとマンドリンの魅力について教えてください。

▲▲ ●● 樟蔭のマンドリンオーケストラは、

Q マンドリン部の雰囲気と今後の目標をお願いします。

▲▲ 今所属している部員は全員初心者。歴史のあるクラブですが、みんな自由に気軽に音楽を楽しんでいます。

▲▲ 実は今の部員数7名は、オーケストラとして演奏できる最小限の人数なんです。今後もっと部員を増やして、オーケストラらしい迫力ある演奏がしたいです。

●● & ▲▲ マンドリン部では、ただ今部員を大募集! 皆さん、ぜひ気軽に見学にきてください!

インタビュー中は終始笑顔だったお2人。練習場の樟蔭館にお邪魔すると、真剣な眼差しで演奏されている姿が印象的で、素敵な音色を聴かせていただきました。

クラブ活動報告

中学校・高等学校

■バントワリグ部

第33回バントワリグ関西大会(11/13)

- ◆金賞 中学校・樟蔭Jr./バトン編成
- ◆金賞 中学校ボンボンチーム
- ◆金賞 高校バトン編成
- ◆金賞 高校ボンボンチーム

※出場全チームの金賞受賞は、昨年に引き続き2年連続の快挙!

第39回マーチングバンド・バントワリグ全国大会(1/7)

- ◆金賞・人数編成別優秀賞(小編成)・手具編成別最優秀賞 高校ボンボンチーム
- ◆金賞 中学校・樟蔭Jr./バトン編成
- ◆金賞 高校バトン編成

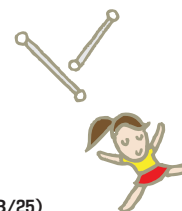
※ボンボンチームで日本一!

第32回関西中学校・高等学校バントワリグ大会(1/21)

- ◆金賞・優秀賞 高校ボンボンチーム

第4回大阪バントワリグ競技会(1/29)

- ◆ダンスワールの部 第2位 ●●●●(高2年春組)
- ◆ダンスワールの部 第3位 ●●●●(高2年花組)
- ◆トウバトンの部 第7位 ●●●●(高2年春組)
- ◆ソロストラットの部 第6位 ●●●●(高1年冬組)
- ◆ダンスワールの部 第6位 ●●●●(高1年花組)



第37回全日本バントワリグ選手権関西大会(3/23~3/25)

- ◆スリーバトンの部 第4位 ●●●●(高2年春組)
- ◆ダンスワールの部 第7位 ●●●●(高2年花組)
- ◆ダンスワールの部 第8位 ●●●●(高2年春組)

■スキー部

第62回大阪高等学校総合体育大会(1/4~1/6)

- ◆少年女子 クロスカントリー(フリー)の部 第6位 ●●●●(高2年春組)
- ◆少年女子 クロスカントリー(クラシカル)の部 第7位 ●●●●(高2年春組)

※インターハイ(全国大会)出場権を得ました!

第58回大阪高等学校春山スキー新人大会(3/25~3/27)

- ◆女子クロスカントリーの部 クラシカル 第6位 ●●●●(高2年春組)
- ◆女子クロスカントリーの部 フリーの部 第5位 ●●●●(高2年春組)

■卓球部

第22回大阪個人リーグ卓球大会(3/18)

- ◆女子シングルス(一般の部) 第1位 ●●●●(高2年春組)



■新体操部

大阪高校新人大会(11/3)

- ◆団体2位
- (高1年秋組) ●●●●(高1年冬組)
- (高2年秋組) ●●●●(高2年冬組)
- (高2年花組) ●●●●(高2年花組)

※第27回全国高等学校新体操選抜大会出場が決定!!

■フォークソング部

ハイスクールライブ・スプリングフェスティバル2012(3/30)

- ◆グランプリ賞・優秀賞 ●●●●(高2年花組)

※3/26に行われた予選フェスティバルパート1で選考され、見事ファイナルイベントにて受賞!

■美術部

第12回大阪府献血啓発ポスターコンクール(3/26)

- ◆知事賞 ●●●●(高3年月組)
- ◆優秀賞 ●●●●(高2年月組)





hagukumu

育むこころ

01

kokoro



こんどう しんたろう  
1956年11月、徳島県徳島市生まれ。上智大学理工学部数学科を卒業後、樟蔭中学校の数学教師になる。大学ではマンドリンオーケストラに所属。好きな音楽は「ボシロ」などで知られる作曲家ラヴェルや、森昌子の「哀しみ本線日本海」「越冬つばめ」など。最近はクラブ活動のために、いきものがかりや嵐、AKB48の音楽もよく聞いている。

高校・教頭  
近藤 眞太郎先生

今年4月から樟蔭高等学校の教頭に就任された近藤眞太郎先生。今年で教師生活31年目を迎えます。教師になられたきっかけや樟蔭に来られて自ら作られた吹奏楽部のこと、教頭としての思い、そして生徒たちへのメッセージなどについて語っていただきました。

その瞬間の気持ちに正直に  
一度きりの人生、

音楽を続けるために、教師に

大学を卒業してすぐに樟蔭中学校の数学教師になりました。実は当時の私には「先生になりたい」という気持ちより、「好きな音楽を続けたい」という思いが強かったです。学生時代からフルートを吹いており、大学ではマンドリンオーケストラ部に所属。在学中にプロの指揮者に弟子入りし、指揮者も務めました。30年前の樟蔭は、数学の教師と同時にクラブ活動を指導できる教員を探しており、「吹奏楽部を指導できます」と樟蔭にやってきたのです。

当時吹奏楽部は存在せず、部員集めから楽器や練習場所の確保までゼロからのスタートでした。新入生向けのクラブ活動紹介では、他のクラブは部員が紹介する中、私が壇上に立ち「入りませんか!」と一生懸命呼びかけていたことを今でもよく覚えています。

悩みながらも夢になって早30年

指揮者は、自分なりの音楽の解釈を全身のパフォーマンスで伝え、奏者の力を引き出さなければいけません。これは、教師

にも通じることです。生徒は私たち教師のささいな表情の変化や雰囲気を読み取って、反応を返してくれる。勉強を教えるだけではなく、人間対人間のとてもデリケートな部分にまで気を遣わなければいけません。時に、女子ならではの難しさも感じ、初めて担任を持った時は「とりあえず10年。それで答が見つからなかったらやめよう」と考えていたものです。そうして夢中になって、気が付いたら31年。4年前に高校に異動し、今年の4月からは教頭を務めさせていただくことになりました。

樟蔭の伝統を守り、新しい魅力を発信

樟蔭中学校で動き始めた頃、高校の体育祭の伝統行事「青春の躍動」という創作ダンスの演目を見て感動しました。それから数年後、ダンス部やバトントワリング部が全国レベルに成長しました。舞台演技は樟蔭の伝統です。伝統を新しい魅力として発信できたら、という思いで昨年、中学校に「身体表現コース」を立ち上げました。バトントワリング・新体操・ダンス・ソフトテニスの4つのクラブを対象に、勉強と両立させながら全国レベルでの活躍をめざします。

教頭に就任したことで、樟蔭の魅力の発信や、教職員がより働きやすくなる環境づくりなど、学校の運営面への責任も大きくなっています。これまで以上に忙しくなりますが、その時その時を大切に取組んでいきたいと思っています。生徒の皆さんも、勉強でも、クラブでも、何をやるにしても、その瞬間に悔いが残らないよう「やりたい」と思うことに一生懸命取り組んでいってほしいと思います。



FORUM

● 皆様とのコミュニケーションスペース

新任教職員紹介 (順不同)

学芸 インテリアデザイン 教授 大島 康孝 (おおしま やすたか)	学芸 ライフプランニング 教授 加藤 卓哉 (かとう たくや)	児童 児童 講師 小寺 玲音 (こてら れん)
※ホームページでは公開していません。	※ホームページでは公開していません。	※ホームページでは公開していません。
ディスプレイデザインを皆さんと共に楽しく学び、自らも成長したいと考えています。よろしくお願いいたします。	マーケティングと広告を専門領域に、百年の連綿を汚さぬよう勉めてまいります。よろしくお願いいたします。	幼稚園教育実習の指導を担当します。実習の中でより深い学びができるような指導をしていきたいと思ひます。
高校 国語科 常勤講師 田中 徹一 (たなか てついち)	高校 国語科 常勤講師 東 花純 (あずま かすみ)	高校 英語科 常勤講師 畑山 雅史 (はたや まさし)
※ホームページでは公開していません。	※ホームページでは公開していません。	※ホームページでは公開していません。
田中徹一と申します。新しく国語の教師として着任しました。誠心誠意頑張りますのでよろしくお願いいたします。	国語科の東花純と申します。伝統ある樟蔭で明るく頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。	はじめまして。畑山と申します。樟蔭学園では、皆様の心に残るような教員になれるように頑張っていきたいと思います。
中学 国語科 常勤講師 田中 敦子 (たなか あつこ)	幼稚園 専任講師 小林 亜矢美 (こばやし あやみ)	関屋 心理学部研究事務室 係員 橋本 宏美 (はしもと ひろみ)
※ホームページでは公開していません。	※ホームページでは公開していません。	※ホームページでは公開していません。
母校である樟蔭に教員として戻ってこれたことをとても嬉しく思ひます。これからよろしくお願いいたします。	一人一人の子どもの気持ちに寄りそった保育ができるよう、頑張ります。よろしくお願いいたします。	生徒の方たちが気軽に訪れられるような場所にしたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

人事

退任 (2012.3.31付)

- 理事 中野 貞一郎
- 評議員 瀨美 良一、網野 康子、石川 義之、田中 勢津子、中野 貞一郎

退職 (2012.3.31付)

- 大学・短期大学部/教員 秋山 恵一、石川 義之、高瀬 英彦、小土井 直美、伊藤田 公美、鳥山 平三、日比野 英子、森島 隆一、野中 亮、阿部 直美、竹田 博信
- 大学・短期大学部/助手 赤城 恵子、神藤 光野
- 大学・短期大学部/教務助手 岩田 光代、成川 佑里
- 高校・中学校/教員 治部 知子、森本 佳子、吉住 弘、渡会 敦幸、土橋 優子、寺田 和代、宮本 良夫、吉岡 正
- 幼稚園/教員 岡嶋 淳子、奥山 雅
- 法人/職員 田中 利加子 (2012.1.31.付)

任用 (再任を除く)

- 理事 池田 良兼
- 評議員 池田 良兼、加藤 洋子、高木 秀真、野田 圭子、山本 光男
- 役職 学園広報室長 大江 米次郎、高校/副校長 高木 秀真、高校/教頭 近藤 眞太郎、高校/参与 瀨美 良一、幼稚園/園長 山本 光男、学園広報室長代理 春口 昌彦

昇任

- 大学(学芸学部)/教授 塚口 眞佐子、萩原 雅也
- 学園/職員 学園広報室課長 春口 昌彦、学園広報室係長 杉本 育美
- 法人/職員 法人本部総務課主任 石川 貴之
- 大学・短期大学部/職員 庶務課係長(関屋) 杉中 照代、庶務課主任(小阪) 石川 佳代子、村中 孝次、庶務課主任(関屋) 阪下 朝子、修学支援課主任(小阪) 藤堂 菜美子、ITセンター主任(小阪) 吉田 幸恵、ITセンター主任(関屋) 三輪 貴子

新規採用 (左記の新任教職員紹介欄参照)

- 中学校/教員 小嶋 祥吾
- 幼稚園/教員 阿部 直美

異動

- 大学(児童学部)/教員 藤本 いく代
- 高校/教員 神農 千佳、仲谷 知之、東野 恵美子、細野 昌彦
- 中学校/教員 青木 郁美、岩田 滋之、小俣 真理子

寄付金応募へのお礼 ※平成23年10月1日～平成24年3月31日までに寄付いただいた方を掲載しています。以降につきましては、次回号に掲載予定です。

この度、多くの皆様から寄付へのご応募を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。皆様からの温かいご支援を励みに、教職員一同で今後ともより良い学園づくりに努めて参ります。[寄付者の芳名] (敬称略・順不同)

ホームページでは寄付者の芳名を公表していません。

学園を支えてくださる皆様へ

樟蔭学園は、創立100周年という大きな節目に向かおうとしている今、現代社会に生きる女性に必要とされる最良の教育を提供し、自らの幸福だけでなく、社会全体の幸福に貢献できる人材を育成していきたいと考えております。

教育環境整備寄付金

学生・生徒がより充実した環境で学び、有意義な学園生活をおくることできるように、設備や制度の充実を図るための寄付金です。

課外活動支援寄付金

学生・生徒のクラブ活動や委員会活動、ボランティア活動などを支援するための寄付金です。

- ご寄付いただいた方へは、学園報「くすのき」への芳名掲載のほか、記念品をお贈りいたします。
- 50万円以上のご寄付いただいた方は、学園報「くすのき」へ高額寄付者として掲載させていただくほか、理事長からの感謝状と特別記念品をお贈りいたします。
- 寄付金は確定申告をすることにより税制上の優遇措置を受けることができます。平成23年度の税制改革により個人からの寄付に対する優遇措置が拡充されました。詳しくは右記へお問い合わせください。

ご寄付いただきました方へは、寄付金額に応じて樟蔭オリジナル記念品を贈呈いたします。ただし記念品の種類はご選べいただけませんので、予めご了承下さい。



学校法人樟蔭学園 総務課  
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26  
TEL:06-6723-8183 FAX:06-6723-8263  
E-mail:soumu@osaka-shoin.ac.jp



# 大学生活を充実させる

大学心理学部 発達教育心理学科

川上 正浩先生



かわかみまさひろ  
●大学心理学部  
発達教育心理学科 教授  
三重県生まれ。2001年より大  
阪樟蔭女子大学に勤務。専  
門分野は認知心理学。

5月病、という言葉があります。4月の新生活スタートから1ヶ月、新しい環境に適応できないことから、やる気が出なかつたりする状態です。誰も新しい環境に慣れるのはなかなか難しいことですが、あまり深刻にならず、ゆるゆるやっていくことで、新しい生活も充実してくるでしょう。

同じ心理学部の教員でチームを組んで、「大学生活充実度」について研究を続けてきました。その結果、大学生活が充実したものであるための要素は、大きく4つあることがわかってきました。1つめは授業に対する満足感、2つめは大学内での友人関係に対する満足感です。授業時間をどう過ごし、休み時間を友人達とどう過ごすのが重要だ、というのは納得のいく話ですね。そして3つめが将来に対する不安のなさ。これは逆

に言えば将来展望がきちんと持てているかどうかということです。自分の将来像が明確になり、それに向かって努力していける状態であれば、大学生活も充実したものになると言えそうです。そして最後の1つが、大学へのコミットメント(かかわりや愛着)です。“なんとなく”この大学でやっていけるという感覚や、“この大学なら”という期待などがこのコミットメントを構成しています。我々の研究チームでは、この“大学へのコミットメント”が一番大事な要素なんじゃないか



な、と考えています。つまり、樟蔭を居場所と感じることができたり、樟蔭生であるという自覚と誇りを持ってたりすることが、大学生活そのものを充実させるのです。

樟蔭生を対象にしたデータによれば、樟蔭生の大学生活充実度は1年から4年に向けて上昇していきます。本学の教育を学生さん達がうまく受け止めてくれている証拠だと、研究メンバーは胸をなで下ろしています。

## STAFF @ SHOIN 02

### 西野 律先生

養護教諭  
中学校高校 保健室勤務

にしのりつ ●兵庫県水上市(現丹波市)出身。岡山大学教育学部を卒業。趣味はスノーボードで、シーズンになると週末はゲレンデへ。

悩みが多い思春期。  
気軽に話しかけられる存在に

「養護教諭になって今年で12年目。樟蔭では7年目です。中学、高校と成長著しい時期を6年間も見守れることは、大きな喜びですね」  
穏やかな笑顔でそう語る西野先生は、中学校と高校の保健室の先生を務めます。ケガや病気の対応、健康診断の運営などのほかに、生徒たちの悩み相談も重要な仕事です。

「中学、高校は悩みの多い時期。生徒が相談してくれた時は、アドバイスをするというより、“一緒に考える”ようにしています。また体調不良の原因が心の悩みの場合もあるので、会話の中での気付きを大切にしています。中学時代にすこく悩んでいた生徒が、高校生でクラブ活動に夢中になって元気になっていく。保健室に来る回数は減りますが、校舎ですれ違った時に“先生、元気になったよ”と報告してくれるのはとても嬉しいですね」

生徒の心身の健康をサポートする西野先生は、「保健室の先生が元気じゃないと、相談しようと思わないから」と自身の健康管理にもとても気を付けています。

「先生がしんどそうな顔をしていたり、忙しそうに走り回っていると、生徒の方が気を遣ってしまいますよね? だから常に、どんなに忙しくても、笑顔と余裕は大切にしています。でもやっぱり生徒が来てくれることが一番のパワーになりますね。青春時代は悩むことも一つの経験。成長していく過程に、そ



つと安心感を添えられるような存在でありたいです。」



学校法人 樟蔭学園

大阪樟蔭女子大学 / 大学院 大阪樟蔭女子大学短期大学部 樟蔭高等学校 樟蔭中学校 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園